

ペットや飼い主のいない猫の過剰繁殖等の対策について

【調査の目的】

県では、所有者のいない猫の過剰繁殖による生活環境被害の軽減及び所有者不明の猫の引取数を減らすことを目的として、平成26年度から地域猫活動支援事業を実施し、地域住民と市町村が協働で実施する地域猫活動を支援しています。

また、県が引取りした犬猫の新しい飼い主を探すため、動物愛護センターで動物愛護団体と連携して譲渡促進の取組を実施することにより、致死処分数を削減し、人と動物が共生する社会の実現を目指しています。

このため、地域猫活動及び譲渡事業について皆さまのご意見をお聴かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきたいと思ひます。

(保健医療介護部生活衛生課)

※地域猫活動とは

地域における、飼い主のいない猫の過剰繁殖やトラブルの防止のために、地域の合意のもとに地域住民が主体となり、不妊・去勢手術の実施や餌・トイレの管理などを行い、猫を適正に管理する活動。本活動により管理されている猫を地域猫という。

一世代限りの飼養や新しい飼い主探しにより、将来的には地域から飼い主のいない猫がいなくなることを目指す。

【現在、県が行っている支援】

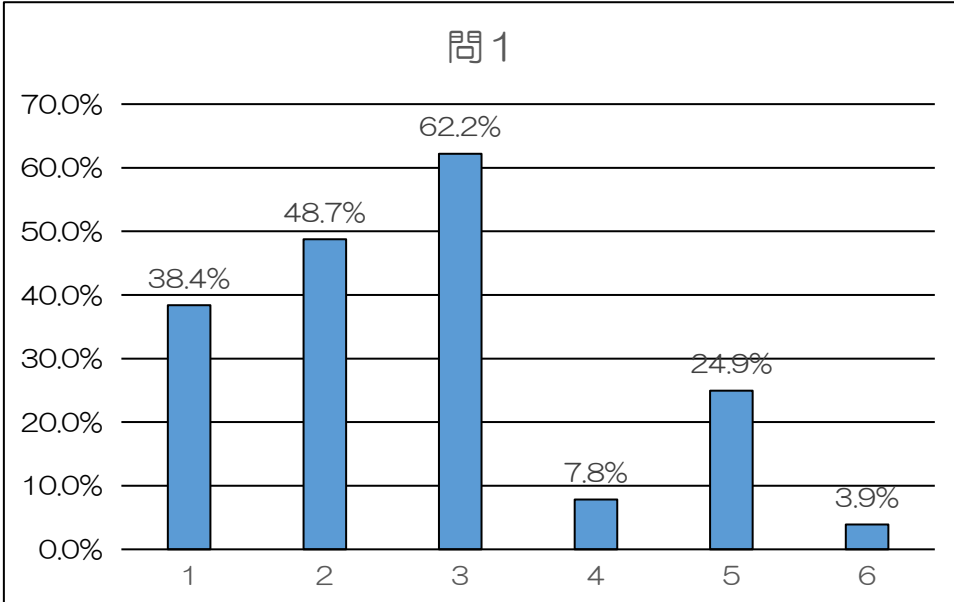
- ・市町村と地域住民とが行う地域猫活動に対する技術的な助言等の支援
- ・不妊去勢手術費用を助成する市町村への補助金交付による支援

問1 あなたは、屋外にいる猫による生活環境被害を軽減するためにどのような対策が必要だと思ひますか。

(N=357 選択は2つまで)

選択肢	回答数	割合
1 飼い猫は屋内で飼育し、屋外に出さない	137	38.4%
2 飼い猫に迷子札を装着するなど所有者を明示し、餌やトイレ管理など適正な飼養管理を行う	174	48.7%
3 飼い主あるいは餌を与えている方が不妊去勢手術、餌の後片付けやトイレ管理などマナーを守ってお世話する	222	62.2%
4 追い払う、柵や塀の上に障害物を設置して敷地内への侵入を防ぐなど、自分でできる対策をとる	28	7.8%

5 飼い主のいない猫に対しては、地域住民の間でコミュニケーションをとり、地域猫活動を実施する	89	24.9%
6 その他	14	3.9%



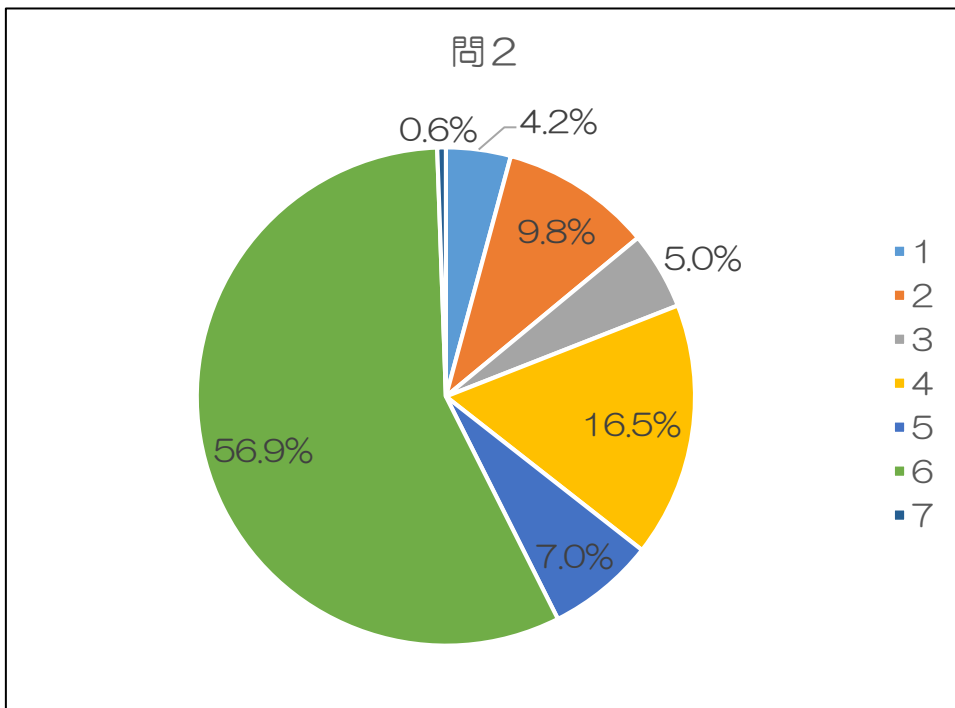
[その他] (カッコ書きは類似回答数)

- ・無責任に猫に餌付けする人へは厳しい指導もしくは罰金などの処分を科してほしい。
(3)
- ・猫の登録制度を作り、管理責任を明確にし、違法な行為に対して罰則を科せるようにする。(3)
- ・野良猫に対しても、野犬と同じような規制を設けてほしい。
- ・犬、猫を飼う人にペットの一生責任をもって管理することを条件付ける契約書を飼育当初役所に提出する。
- ・犬猫の飼い主に対する犬猫へのマイクロチップの装着義務化、犬猫保険への加入、ワクチン接種への補助金支給により、迷い犬猫の撲滅を図っていく。
- ・ペット不可のマンションでも、室内飼いなら飼ってもいいとすれば、猫の保護がもっと進むと思う。
- ・公共の場で無責任に猫に餌を与えている人は、公共の場の管理者になって、場所の管理を行ってもらいたい。
- ・猫によるゴミ集積場荒らし対策として、ゴミ集積場の入り口扉には掛け金設置を義務付けてほしい。
- ・野良猫対策は難しい。人に危害を与えない動物なので追い払うなりして放置するしかないと思う。
- ・猫のことを理解するための勉強会や、猫の可愛さを発信するイベントを開催し、猫の自由奔放さを許容できる地域を目指してほしい。
- ・猫に対して世間が厳しすぎると思う。

問2 あなたは、「地域猫活動」について知っていましたか。また、県が「地域猫活動」の支援事業を行っていることを知っていましたか。

(N=357 選択は1つのみ)

選択肢	回答数	割合
1 地域猫活動を行っており、県の支援事業も知っていた	15	4.2%
2 地域猫活動は行っているが、県の支援事業は知らなかった	35	9.8%
3 地域猫活動を知っており、県の支援事業も知っていた	18	5.0%
4 地域猫活動は知っていたが、県の支援事業は知らなかった	59	16.5%
5 地域猫活動のことは知らなかったが、県の支援事業について聞いたことはあった	25	7.0%
6 どちらも知らなかった	203	56.9%
7 その他	2	0.6%



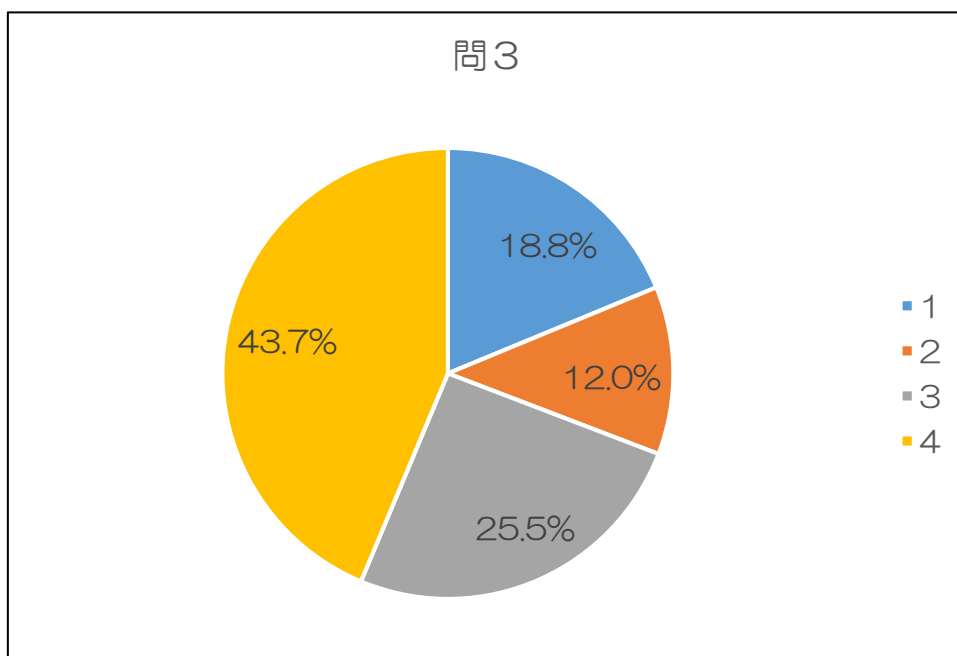
[その他] (カッコ書きは類似回答数)

- どちらも知らなかった。
- 野良猫や地域猫について相談できる窓口が増えてほしい。

問3 あなたは、福岡県動物愛護センター（古賀市）を知っていましたか。また、当センターにおいて、県が引き取りした犬猫の新しい飼い主を探していること（譲渡事業）を知っていましたか。

(N=357 選択は1つのみ)

選択肢	回答数	割合
1 施設名を知っており、譲渡事業も知っていた	67	18.8%
2 施設名を聞いたことはあるが、譲渡事業は知らなかった	43	12.0%
3 譲渡事業は知っていたが、実施している施設は知らなかった	91	25.5%
4 施設名も譲渡事業も知らなかった	156	43.7%



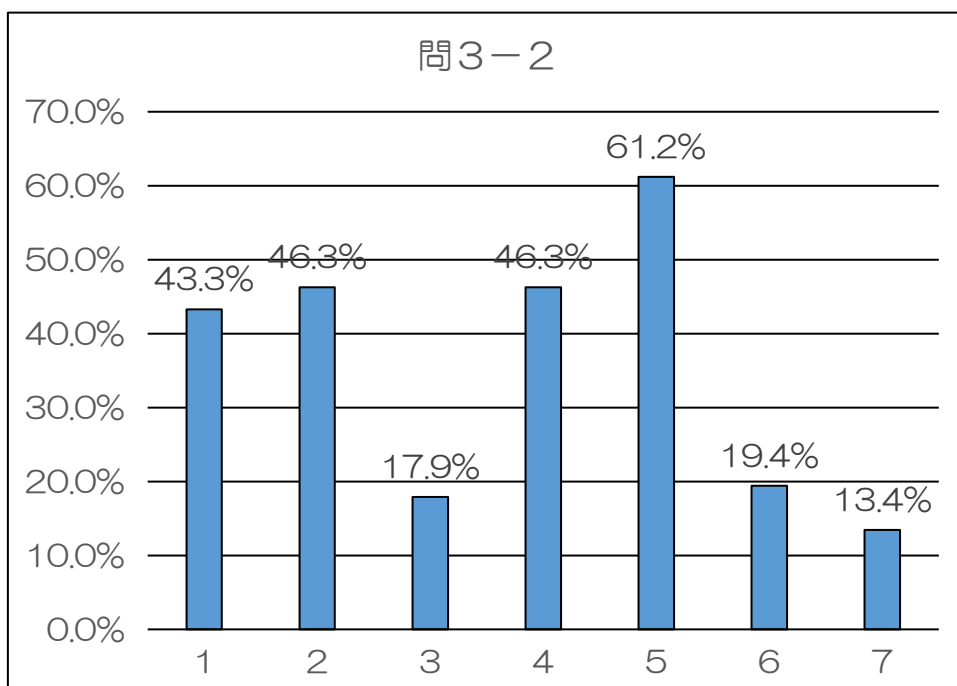
問3-2 （問3で「1」を選んだ方にお尋ねします。）

福岡県動物愛護センターにおける犬猫の譲渡について、次のことを知っていますか。

(N=67 選択は複数)

選択肢	回答数	割合
1 譲渡する犬猫は、原則として不妊去勢手術が済んでいる	29	43.3%
2 譲渡する犬猫は、原則として感染症を防ぐための混合ワクチンが接種されている	31	46.3%
3 譲渡する犬猫は、原則としてマイクロチップが挿入されている	12	17.9%

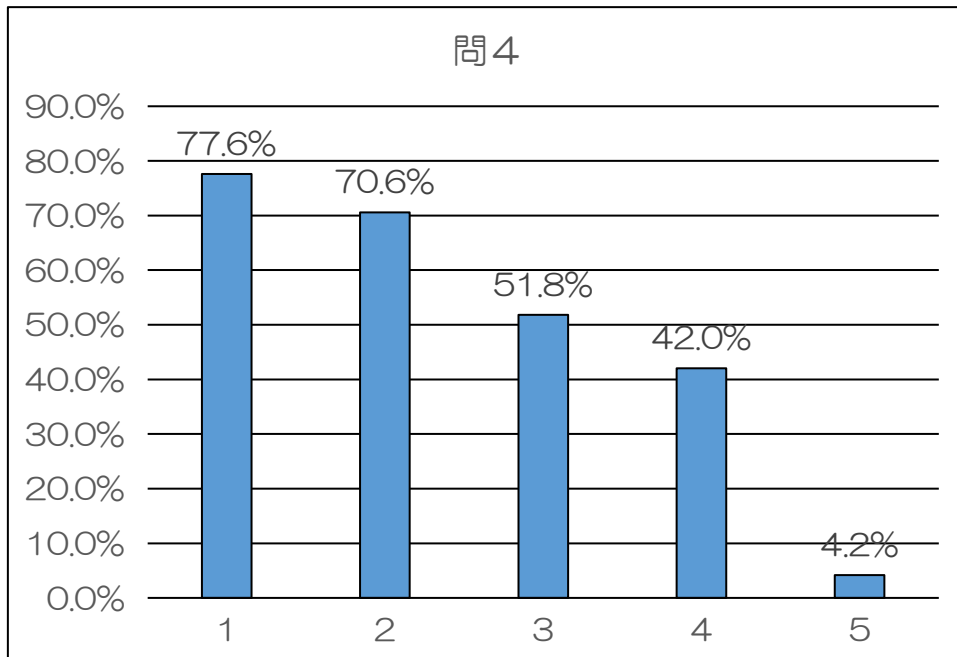
4 犬の譲渡を希望する場合は、事前に講習会を受講する必要がある	31	46.3%
5 犬猫を譲り受けるためには、家族の同意など一定の条件を満たす必要がある	41	61.2%
6 譲渡事業以外にも、譲渡した犬の同窓会、犬のしつけ方教室のほか猫の飼い方教室などを実施している	13	19.4%



問4 あなたは、福岡県動物愛護センターにおける犬猫の譲渡を進めるためには、どのようなことが必要と思いますか。

(N=357 選択は複数)

選択肢	回答数	割合
1 ホームページやSNSを活用し、動物愛護センター事業の広報を強化する	277	77.6%
2 犬猫を譲り受けるための条件を分かりやすく、ホームページ等に掲載する	252	70.6%
3 新しい飼い主を募集している犬猫の性格や特徴を詳細に説明する	185	51.8%
4 県内各地に出張し、譲渡会を実施する	150	42.0%
5 その他	15	4.2%



[その他] (カッコ書きは類似回答数)

- メディア（テレビ、ラジオ、新聞等）に取り上げてもらう。（4）
- 譲渡の条件はある程度必要かと思うが、条件が厳しすぎると、譲渡は進みにくいと思う。（3）
- その場での衝動で飼わないように追跡調査をおこなう
- 次回の譲渡会の日時や場所を CM で流す
- 地域猫活動そのものがどのような活動をしているか知らないままに闊歩する野良猫から自己防衛している。実際見かけた時に、猫は自在に歩き回っている中で、どこにどう連絡すれば何をしてくれるのか、具体性を持って欲しい。
- 博多駅前や天神市役所前広場で、犬猫譲渡会を実施する。人が多いところでしなければ、広まらないし、知らない人が多いのが現状で、良いことをせっかくしてても意味がない。イベント風にしたら、メディアもくるでしょうし、一気に加速して、全国発信できるいい機会にもなると思う、ぜひして欲しい
- 虐待を防ぐために譲渡する人への審査は厳しくした方がいいと思います。それから譲渡を進めるためには、市町村の公的機関のあらゆる手段を利用したらいいと思います。
- 野良を増やしてももらってくれる人がいるからと思われないように気をつけながら譲渡会の回数や保護施設を見学しやすくして欲しい
- 動物愛護センターで去勢手術したり、マイクロチップを埋め込んで譲渡しているとは知らなかった。県民に詳細な情報をテレビや新聞で知らせた方が良くと思う。これには予算をつぎ込んでほしい。
- 譲渡先の人々の年齢や経済面を見て、飼育能力があるのかどうかを審査する。
- ペットショップの生体販売場所に譲渡犬の紹介を掲示する。
- 犬、猫を飼う人に食費の補助、飼育方法の指導、その後状況をフォローする。逃走した場合の援助協力等の対応を明確にし、飼い主と約束する。

問5 これまでの設問以外に意見がありますか。

(N=357 選択は1つのみ)

選択肢	回答数	割合
1 ある	48	13.4%
2 特にない	309	86.6%

[ご意見（抜粋）]（カッコ書きは類似回答数）

- 動物に関する規制に係るもの（2）
- 野良猫への餌やり、猫による被害に係るもの（14）
- ペットの飼い主のマナーやモラルに係るもの（3）
- ペットを飼うことに関する仕組みづくりに係るもの（8）
- 野生動物に係るもの（2）
- 行政に期待する役割に係るもの（9）
- その他（9）